

長野市・大岡村・豊野町・戸隠村・鬼無里村合併協定調印式

日 時 平成16年5月17日(月) 午後4時

場 所 ホテルメトロポリタン長野

出席者

別紙のとおり

(米倉事務局長)

本日は、公私ともにお忙しいところ、大勢の皆様方にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今から、長野市・大岡村・豊野町・戸隠村・鬼無里村合併協定調印式を始めさせていただきます。

はじめに、開式の辞を、豊野町の谷口助役より申し上げます。

(豊野町谷口助役)

開式を申し上げます。

本日は合併5市町村関係各位ご一同様のご参集をいただきました。ご苦勞様でございます。

なお、ご来賓各位には大変ご多忙のところでございます。ご都合いただきましてご臨席の栄を賜りますこと御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

では、ただ今から長野地域合併協定調印式を開式いたします。

(米倉事務局長)

ここで、本日大変お忙しい中、ご臨席を賜りましたご来賓の方々をご紹介させていただきます。

最初に、

参議院議員 若 林 正 俊 様

衆議院議員 小 坂 憲 次 様の代理の方

衆議院議員 村 井 仁 様の代理の方

衆議院議員 篠 原 孝 様の代理の方

参議院議員 北 澤 俊 美 様の代理の方

長野地方事務所長 金 井 範 夫 様

長野県議会議員 石 田 治一郎 様

長野県議会議員 高 橋 宏 様

長野県議会議員 鈴 木 清 様

長野県議会議員 西 沢 正 隆 様

長野県議会議員 田 中 清 一 様

長野県議会議員 服 部 宏 昭 様の代理の方

以上でございます。

本日は、誠にお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。

続きまして、本日の合併協定調印式までの経過報告及び合併協定書の説明を長野市の酒井助役より申し上げます。

(酒井長野市助役)

それでは、長野市、大岡村、豊野町、戸隠村及び鬼無里村の合併への主な取組み経過について、ご報告申し上げます。

本日お手元に配布させていただいております「合併協定調印式」と記載の資料の3ページをご覧ください。

国では、平成12年4月の地方分権一括法の施行により、地方分権の推進と行財政基盤の整備・強化を推進している中、近年、全国的に市町村合併が検討されるようになっております。

このような中、豊野町では、平成14年9月に議会の了承の後、平成14年10月に長野市への合併協議の申し入れをし、これを受けまして長野市議会全員協議会において任意合併協議会設置の了承をいただき、同年12月25日に長野市・豊野町任意合併協議会を設置いたしました。平成15年2月4日には、長野県から「市町村合併重点支援地域」に指定され、合併協議を進めてきたところであります。

また、大岡村、戸隠村、鬼無里村におきましても、それぞれの議会の了承の後、大岡村及び戸隠村については、平成15年3月5日に、鬼無里村については、3月13日に長野市への合併協議の申し入れがあり、これを受けまして3月24日に長野市議会全員協議会において任意合併協議会の設置の了承をいただき、同年4月17日に協議会を設置いたしました。6月6日には、長野県から「市町村合併重点支援地域」に指定され、合併協議を進めてきたところであります。

資料4ページをご覧ください。

任意合併協議会での協議経過等ではありますが、長野市・豊野町任意合併協議会につきましては、昨年の9月1日までに7回の協議会を開催し、また、長野市・大岡村・戸隠村・鬼無里村任意合併協議会につきましては、10月29日まで6回の協議会を開催いたしました。

11月11日には2つの任意合併協議会の合同会議を開催し、任意合併協議会での協議を終了し、各市町村において、地方自治法第252条の2第3項の規定に基づき議会12月定例会に法定合併協議会の設置についての議案を提案し、議決いただいたところでもあります。

平成15年12月22日には、法定協議会であります「長野地域合併協議会」を設置し、本年5月10日まで4回の協議会を開催いたしました。

任意合併協議会及び法定合併協議会においては、合併の方式など合併協議の基本的な項目について方針が確認されるとともに、住民サービス、住民負担に関する事項を中心に、合併に向けて精力的かつ真剣な協議を重ねてまいりました。

また、合併後の新市の将来ビジョンである合併建設計画につきましても、任意合併協議会の附属機関であります「合併建設計画策定委員会」において審議し、協議会においても熱心な議論をいただいたところでもあります。

資料13ページをご覧ください。

資料13ページにあります合併協定書の内容につきましては、これまでの協議会の協議によりまして、合併の方式、合併の期日、市の名称、市の事務所の位置のほか、住民生活に密接な福祉、保健、環境、教育等の各種事務事業並びに合併建設計画など協定項目のすべてについて、確認を完了いたしました。

本日の合併協定書は、合併協議会において確認された内容を証する書面としてとりまとめたところでもあります。

資料の14ページをご覧ください。

前文ではありますが、合併協定書全体に通ずる趣旨としてまとめておりますので、朗読させていただきます。

長野市、大岡村、豊野町、戸隠村及び鬼無里村の5市町村は、肥沃な善光寺平を中心に、緑豊かな山々に抱かれた地域として、旧来から日常生活をはじめ経済的・文化的にも深いつながりの中で発展を遂げてきた。特に、近年の交通・情報通信網

の発達により、住民の社会経済活動は市町村の枠を越えて一体化してきたものである。

また、これからの市町村には、分権型社会の構築、少子高齢社会への対応などが強く求められており、より効率的・効果的な行政運営を行っていくことが必要である。

これら諸事情を踏まえ、5市町村は平成15年12月に地方自治法及び市町村の合併の特例に関する法律に基づく「長野地域合併協議会」を設け、合併協議を重ねてきた。

5市町村は、合併協議を重ねる中で、更なる住民福祉の向上を図るとともに、先人達の英知と努力により培ってきたそれぞれの歴史と伝統を尊重し合い、都市と自然が共生する、美しくより魅力的なまちづくりを進め、首都圏、中部圏、日本海沿岸を結ぶ地方中枢都市としてより一層の発展を図るため、合併することで合意した。

本協定書は、合併協議の中で確認されたこれら諸事項の円滑な推進を目的に、ここに締結するものである。

以上が前文であります。

資料15ページをご覧ください。

1番の合併の方式につきましては、「更級郡大岡村、上水内郡豊野町、同郡戸隠村及び同郡鬼無里村を廃し、その区域を長野市に編入する編入合併とする。」ものであります。

2番の合併の期日は、平成17年1月1日とする。

3番の市の名称は、「長野市」とする。

4番の市の事務所の位置は、現在の長野市役所がある長野市大字鶴賀字苗間平1613番地とする。

とするものであります。

以上が基本的な事項についての協定内容であります。時間の都合もございますので、5番の財産の取扱い以下につきましては、後ほどご覧いただきたいと思っております。

続きまして、合併建設計画につきましては、別添の「長野地域（長野市・大岡村・豊野町・戸隠村・鬼無里村）合併建設計画」のとおりであります。この計画は、合併後のまちづくりのマスタープランであり、1町3村の長期計画を承継するとともに、第三次長野市総合計画を踏まえて策定しております。

この計画を推進し、新市の速やかな一体化と均衡ある発展を図り、都市と自然が共生する魅力的なまちづくりを進めていくものであります。

資料の37ページをご覧ください。

以上、すべての協定項目の確認、決定がされましたので、この後、5市町村長及び立会人として、議会を代表して5市町村の議会の議長さんに署名をいただくこととなっております。

簡単ではございますが、合併への主な取り組みの経過と合併協定書につきまして、ご報告させていただきます。

（米倉事務局長）

続きまして、調印に移らせていただきたいと思います。

会場の皆様におかれましては、先ほどご説明申し上げました合併の協定書をご覧くださいいただければと存じます。

それでは、5市町村長によりまして、合併協定書に署名をいたしたいと存じます。

順次お名前をお呼びいたしますので、5市町村長は、中央の署名席へお移り願いたいと思います。

鷲 澤 正 一 長野市長

大 平 嘉久雄 大岡村長

萩 原 秋 夫 豊野町長

横 川 欣 一 戸隠村長

風 間 俊 宣 鬼無里村長

報道関係の皆様方におかれましては、写真撮影をされる方におかれましては、署名席近くまで移動していただいても結構でございますので、よろしく願いいたします。

それでは、署名をお願いいたします。

（5市町村長、それぞれ合併協定書に署名・押印）

(米倉事務局長)

ありがとうございました。

自席の方にお戻り願いたいと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、立会人といたしまして、5市町村の議会議長さんに署名をお願いしたいと存じます。

順次お名前をお呼びいたしますので、5市町村の議長さんにおかれましては、大変恐れ入りますが、中央の署名席へお移り願いたいと思います。

長野市議会議長 町田 伍一郎 様

大岡村議会議長 中澤 義忠 様

豊野町議会議長 須田 幸宏 様

戸隠村議会議長 宮下 慎平 様

鬼無里村議会議長 徳竹 一男 様

それでは、署名をお願いいたします。

(5市町村議会議長、それぞれ合併協定書に署名・押印)

(米倉事務局長)

ありがとうございました。自席の方にお戻りくださいますようお願いいたします。

それでは、本日ここに、長野市、大岡村、豊野町、戸隠村、鬼無里村の合併協定が、5市町村の議会議長さんの立ち合いのもと、正式に調印されました。

これを記念いたしまして、5市町村長、それと議会の議長の皆さん方の固い握手をしていただきまして、この合併協定の証を確実なものとしていただきたいと思えます。

それではお手数ですが、5市町村長及び5市町村の議会議長の皆さん方におかれましては、ステージの中央まで移動をお願いいたします。

報道関係の皆さん方におかれましては、よろしく願いいたします。

それではよろしいでしょうか。硬い握手をにこやかにお願いしたいと思いますが、よろしく願いいたします。

(5 市町村長、議会議長の握手)

(米倉事務局長)

ありがとうございました。もう一度盛大な拍手を皆様方、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

続きまして、主催者といたしまして、それぞれ市町村長よりご挨拶を申し上げます。

はじめに、鷲澤正一長野市長よりご挨拶を申し上げます。

(鷲澤長野市長)

合併協定書の調印に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

ご来賓の皆様には、何かとご多用の中、ご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、豊野町とは平成 1 4 年 1 2 月に、大岡村、戸隠村、鬼無里村とは平成 1 5 年 4 月に任意合併協議会を設立し、昨年 1 2 月には、法定合併協議会である長野地域合併協議会を設置し、協議を進めてきたところであります。

ただ今 5 市町村の合併協定書の調印を無事に終えることができましたのも、ご列席の合併協議会委員の皆様、各市町村の議員の皆様をはじめ、関係の皆様のご支援・ご協力の賜と心から感謝を申し上げる次第でございます。

地方自治体を取り巻く情勢については、ご承知のとおり、地方分権の推進、高度情報化、少子・高齢化の流れの中で大きな変革の時期を迎えております。

また、現在の厳しい社会経済情勢と多様化する住民ニーズに応えるため、国・地方ともども一層の行政改革が求められており、市町村においては、行財政基盤の強化により、地方分権の受け皿となる強い自治体の形成が求められております。

長野市は、明治 3 0 年の市制施行以来、幾たびか合併を重ね、人口 3 6 万人余の中核市として発展を遂げてきました。この間、通勤・通学圏、商圈など、住民の日常生活圏が一体化する中で長野地域の中心都市としての役割を担ってまいりました。

このような状況下で、生活圏を一体としております 5 市町村が合併し、一つの自治体となるということは、地域が互いに力を合わせ、課題を克服するための手段と

して、極めて意義の深いことであると考えております。

それぞれの町村の皆様にとりまして、合併を選択されたことは、相当の決断であったと思います。私どもは、その思いを深く受け止め、これまで1町3村が培ってきた歴史や文化を尊重し、更なる住民福祉の向上を図るとともに、都市と自然が共生する、より美しく魅力的なまちづくりに向けて、取り組んでいかなければならないと考えております。

本日の調印を新たな出発点として、5市町村が更に協力し、すべての人々に「合併してよかった」と喜んでいただけるよう、努力してまいりたいと存じます。

平成17年1月1日の合併までには、各市町村議会、また県議会での議決など、重要な手続きが残されているわけですが、ご列席の皆様には、今後とも格別なるご理解とご協力を賜りますよう改めてお願いを申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

今日はどうもありがとうございました。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。続きまして、大平嘉久雄大岡村長よりご挨拶を申し上げます。

(大平大岡村長)

ご指名をいただきました大岡村長の大平でございます。

長野地域合併協議会合併協定書の調印に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本日、ここに長野市をはじめ、豊野町、戸隠村、鬼無里村との合併協議が整いまして、無事に調印ができましたことは、ご列席の皆様をはじめ、関係各位の皆さんのご支援ご協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

私ども大岡村は、山紫水明の中山間地域に位置し、豊かな自然等の中で健やかな生活が営まれておりますが、村民の利便性や少子高齢化の過疎化の状況下において、次世代の将来を見据える中で、行財政基盤の強化と充実は、新しい地域づくりや個々の行政サービスの向上に必要な不可欠の課題となってまいりました。

こうした課題を乗り越える有効的な手段といたしまして、村民自ら選択により、長野市との合併に向け、村民とともに協議を進め、今日を迎えることができましたことは、長野市長さんをはじめ、長野市議会、市民の皆さんのご理解の賜物と深く敬意と感謝を申し上げる次第であります。

この調印が新たな出発点として、それぞれの地域の個性と特性を活かした魅力と活力ある地域づくりにつながり、合併して良かったとなるよう、さらに努力をしてまいる所存でありますので、ご列席の皆様には今後とも格別なるご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、ご挨拶といたします。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。続きまして、萩原秋夫豊野町長よりご挨拶を申し上げます。

(萩原豊野町長)

豊野町長の萩原秋夫でございます。一言ご挨拶を申し上げます。

ご来賓の皆様方にはご多用の折にも関わりませず、ご臨席を賜りまして厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

長野地域合併協議会におきまして、住民福祉の更なる向上とそれぞれの地域の個性と特性を引き出し、活力ある地域づくりのため、ご協議ご決定をいただき、ただ今合併協定書の調印を終えることができましたことは、ご列席の合併協議会の皆様をはじめ、関係の皆様のご理解ご支援の賜物と心から感謝を申し上げます。

この合併によりまして豊野町といたしましては、昭和29年の7月に鳥居村と神郷村が合併して以来の半世紀にわたる歴史を閉じることとなるわけですが、これまで5市町村がそれぞれ育んでまいりました伝統文化、豊かな自然、産業等を共有の財産として誕生いたします新長野市の更なる発展と活躍にご期待を申し上げます。

申すまでもございませんけれども行政は継続することが大切でございます。合併に当たりましては行政サービスを低下させることなくスムーズに新市へ移行する事が重要でございます。

合併期日まで限られた期間ではございますけれども、住民の皆様への情報提供をはじめといたしまして、新市への移行作業に全力で努めてまいりたいというふうに考えております。

ご列席の皆様方には平成17年1月1日の合併まで、更なるご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げまして挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。続きまして、横川欣一戸隠村長よりご挨拶を申し上げます。

(横川戸隠村長)

合併の協定の調印式に当たりまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本日ここまで来るに当たりまして、戸隠村住民の2回にわたる意向調査によりまして、意思表示をした皆さんの、長野市さんへお願いすると、75%にのぼる皆さんの意向に沿ってここまで来ることができました。これに対しましては、今日お出での皆さんをはじめ、特に長野市長さんのご英断、そしてまた町田議長さんはじめ長野市議会議員の皆様、また市民の皆様のご高配をいただいていたの調印であったかこのように思います。このへんにつきまして衷心より御礼を申し上げる次第であります。誠にありがとうございました。

また、戸隠村は振り返りますと昭和の合併の時に長野市さんに執拗にお願いに上がったという文書が残っております。国や県の方針によりますと、芋井村、柵村、鬼無里村、戸隠村との合併を計画したようでございますが、芋井村さんがいち早く長野市さんの方へ行くという形になりまして、後に残された町村は大変な状況になったと大変混乱をした経緯がございます。

そして、戸隠村につきましては、長野市さんの時の市長さん、また議会の皆さんに再三再四にわたってお願いをいたしましたが、長野市のただ今の鷲澤市長さんのようにはいかなかったわけでありまして、ノーということは何回も繰り返し替えされたわけでございます。そして県の林虎雄知事さんの勧告をいただいても、まだ有志の皆さんが長野市さんに何回も何回もお願いに上がっております。しかもだめだということございまして、これは、姫野公明さんという方でございますが、一説によりますと明治天皇の子供だと言う方もおりますが、戸隠に相当大きな業をするところがありまして、東京の大田区にもございますが、東京から慌てて立ち返りまして、「おめたち何やってんだ」と、「国の言う事を聞きなさい。県の言う事を聞きなさい。長野市さんのご事情も分りなさい。」と一晩のうちに村民を納得させたと、そして村の議会は慌てて県へお願いをしましたところ、最終日に間に合います、柵村との合併が成立したということが、戸隠村の村誌に残されてございます。

そういうところを鑑みますと、非常に今回は暖かいご理解をいただきまして、長野市さんにご理解をいただいたということで、我々もそうですが今の戸隠村の村民もそうですが、先輩の皆さんも、ほとんどのその当時の皆さん今天国へ行っておりますが、よくやっていただいたというふうに言っておるかと思っております。そんなことにつきましてもね、議会も私もそうですが、行政もそうですが、住民に合併しろと

か止めるとかという押し付けは全然してありません。そういうことでありますので、特に先輩の皆さんも良いご理解をいただいたと、大げさに言うと涙を流して喜んでいるのではないかなというふうにさえ思います。そういうことでありますので、よろしくお願い申し上げたい。

それからもう1、2皆さんにご理解をいただきたい事とお願いが2つ程ございます。

まず、任意合併協議会、法定合併協議会の中で戸隠は裕福だという長野市民がおいでになるというお話がありましたが、そのように見えると思います。と申しますのは、今の若者から言えば貧乏だと、超貧乏であります。長野市さんは50%近くの自主財源がありますが、戸隠村は10%ありません。しかし、国の施策、県の施策等温情がありまして、富める皆さんと我々のような貧乏な村と一緒に発展することができたということでございますので、富めるように見えるかもしれません。その一番の大きなものは地方交付税でございます。

我々の戸隠村に頂いている地方交付税は決算の半分以上を頂いている。戸隠村が一番大きな決算をしたのは50億を超しております。過去3期12年間の間に一番少ないのが42億以下はございません。ですから当初予算も自ずと最高が37億8千万、一番少ないのは36億台が2回、37億が昨年でございます。そういうことでありますので、いろんな親心、国の親心、県の親心によりまして、富めない戸隠村も富めるように見えただかなというふうに思います。

特に戸隠村があって長野市さんにはない過疎債というのがございます。過疎地域に特別に与えていただく過疎債がございます。これは返済の時に元利合わせて30%、今はないのですが辺地債というのがございましたが、これも25パーセント、また、長野市さんにはなくて、戸隠にあるのは特別豪雪地帯、飯山市さんが中心になって10いくつかの市町村がやっておるのですが、これにつきましても非常に有利な展開ができるような施策がいっぱいあるので自主財源はうんと少ないんですが非常に有利な展開をさせていただいたということでございます。そしてまた、過疎債については、戸隠村管内でも道路整備一番遅れております。そういうことで道路整備に力を入れておりまして、ほとんどが過疎債の対応でございます。

そしてまた、CATVも入れていただいたんですが、これは長野市さんにはあるんですね、もうすでに13万3千戸の皆さんの35%が光ケーブルひいておられ

る、そして後90パーセントの皆さんがひける状態になっておるということでございます。皆さんの方は非常に恵まれておりまして、民間の人がすぐ入れられるようになっておりますが、戸隠村は誰も手当をしてくれないということで自治体がやらざるを得ない。特に戸隠村、小鳥の都と言われておりまして、鳥がいっぱいございます。そしてそのケーブルを突っつく鳥が出てきたんです。もう古くなりまして、特にキツツキですが、その突付いたところに雨水が入りますと聞こえなくなるというような状況でありますし、地上デジタル波になるということも視野に入れましてCATVを入れさせていただきました。そういうことでございますので、これらにつきましては国の皆さん、県の皆さんの非常に温かい温情があるんだということは一時も忘れたことはございませんが、どうか長野市の皆さん、合併をした暁には県下一の都市でございますので、引き続いて親心を持って山間地の我々に日の当たる施策を講じていただきたいとこのように思うわけでございます。

また特にお願いを申し上げたい事につきましては、合併後ですが、法定協、任意合併協議会で協議されたわけでありましたが、一日も早く、市長さんも言っておられます政令指定都市になっていただきたい。そして力をつけて、我々が安心して生活ができるようにお取り計らいをいただきたいとこういうことでございます。

もう一つ、最後をお願いしたいことは、衆議院の選挙区の区割りでございます。これにつきましては、長野市さんへまいりまして2区ではちょっと困りますので、できれば1区に編入していただきますように特別のお取り計らいを申し上げる次第であります。

何はともあれ皆さんに感謝を申し上げながら、市長さん再三再四言っておりますが、合併して良かったと言えるような形に整えていただければ非常に幸せだと思います。

ちょっと長くなってお叱りをいただいたわけでありましたが、ご理解をいただきましてお願いを申し上げます。本当にありがとうございました。心より御礼を申し上げます。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。続きまして、風間俊宣鬼無里村長よりご挨拶を申し上げます。

(風間鬼無里村長)

鬼無里村長の風間俊宣であります。一言ご挨拶を申し上げたいというふうに思います。

本日、合併協定書の調印に当たりまして、来賓の皆様をはじめ、1市1町3村の議員の皆様方、そして関係する皆様方がご参列の中、調印する事ができました。心から厚く御礼を申し上げる次第であります。ありがとうございました。

明治22年に鬼無里村が発足をいたしまして、115年の歴史があるわけでございます。休まず発展をしてきたわけでございます。この歴史にピリオドをつけて、今度は誇りある長野市民として、未来永劫の改革への1ページでもあります。感慨深いものがあると同時に、その責任の重さを痛感をいたしておるところでございます。

村民からは将来を見据えた視野で合併を選んでいただきました。住民と議会そして行政が一体となって今日まで進めることができました。

鬼無里村は水芭蕉そしてブナの原生林、このような村有地があるわけでございます。広大な村有地とともにこれからまた長野市民の森としても是非活用をしていただきたいというふうに思っております。また、多くの水源涵養林もございまして、地域の貴重な財産でもあります。さらにまた、長野県下で3か所あるわけでございますが、奥裾花地域が「水源の森百選」に林野庁から認定をされております。そしてまた、水道水源が長野県上で第1号として指定も受けておるところであります。このように本当に自然がいっぱいの村でございます。

先人から受け継がれました多くの伝説、文化そして貴重な文化財もあるわけでございます。将来にわたりまして癒しの里として期待をしていただいております。

鬼無里村が合併して良かったというふうに評価されますよう、住民が安心して暮らせるために今日まで任意合併協議会そして法定協で決定をされてまいりました事項について尊重をする中で、活力ある地域づくりをお願いをいたしたいというふうに思っております。

結びになりますけれども、長野市さんをはじめ、関係皆様に心から感謝と御礼を申し上げ、今後とも限りないご指導を仰ぎたく存じ、お願いを申し上げまして一言ではございますがご挨拶に代えさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。続きましてご来賓の方々よりご祝辞を賜りたいと存じます。

はじめに、参議院議員 若林正俊様よりお願いいたします。

(若林参議院議員)

今日ここに5市町村の合併の調印式が行われ、新しい長野地域の誕生に立ち会うことができましたことを感動とともにお祝いを申し上げる次第でございます。

それぞれの地域が、長い先人のご努力によりまして、豊かな自然、温かい人情、そして歴史、伝統、文化を大切にしながら今日まで発展をしてこられたことに敬意を表しながら、大きな時代の流れの中で、21世紀この先を見据えての決断でございまして、それぞれの住民を代表する議会の皆さん方、そしてまた行政の責任を担っておられた市町村長の皆さん方の本当に真剣な取組みの結果でございまして、心から敬意を表しますとともに、新しい長野市がこの地域の発展の出発点としてこれから関係者一同が努力に努力を重ねて、住民の期待に応えることができますように、同席をさせていただきました私も皆さんと同じ思いでこの歴史的な調印式を終えることができましたことを喜んでおります。

どうか関係の5市町村の皆さん方、これから出発でございます。新しい時代を共につくっていきましょう。心からお祝いを申し上げます。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。

続きまして、長野県長野地方事務所長 金井範夫様よりお願いいたします。

(金井長野地方事務所長)

長野地方事務所長の金井範夫でございます。今日は合併協定書の調印の運びとなりまして、関係の皆様にも心からお喜び申し上げたいと思います。

私どもも任意合併協議会設立当初からオブザーバーとして参加させていただきました。任意合併協議会、法定合併協議会の協議を通じまして、鷲澤長野市長さんはじめ、関係の皆さんの新しいまちづくりに対する熱い思い、ひたむきなご努力を目の当たりにいたしまして、心から敬意を表する次第でございます。

1市1町3村という大変広範囲にわたる740平方キロという非常に大きな合併でございますが、単に行財政の効率性を高めるだけのものではなく、この合併によ

りまして、地域にお住まいの皆さんが自らの手で地域の新しい将来を築き上げ、合併して良かったと思える地域づくりを行うことが重要であるというように思っております。

そのため、建設計画でもございますように、地域の課題は地域で解決する地域行政や住民自治の確立を目指した都市内分権による新たなまちづくりを推進され、合併後もそれぞれの地域が輝き、発展されるようご期待申し上げますところでございます。

長野地方事務所におきましても関係機関と共に引き続き積極的にご支援申し上げたいと考えているところでございます。正式な合併に当たりましては幾つかの重要な手続きがまだ残っておりますとともに様々な準備がございます。全て滞りなく執り行われ、円滑に合併が行われますよう引き続きご尽力をお願い申し上げますお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。

続きまして、地元県議会議員を代表いたしまして、長野県議会議員 石田治一郎様よりお願いします。

(石田長野県議会議員)

本日は関係の皆さん本当におめでとうございます。

今日ご招待をいただいている県会議員は全員でございますが、たまたま本日総務警察委員会の現調がございまして、松本地方事務所を中心とする現調が行われておりますので、石坂議員、倉田議員、竹内議員、服部議員さんはそちらの方に出席をいたしております関係上、ご無礼をいたしておりますことをご了解をいただきたいと思いますと思っております。

本日、めでたく協定調印式ができましたことに対しまして、改めまして心からお喜びを申し上げます次第でございます。

15年の12月に長野地域合併協議会が発足をしましてから、大変短期間の間でございましたけれども、先ほど調印をいただきました鷺澤市長さんをはじめ、関係町村長さん、ご出席の関係議員さんの大変なご努力によりまして、本日を迎えたわけございまして、皆様方のご努力に対しまして心から敬意を申し上げます次第でござ

ざいます。

県議会におきましてもですね、まあいろいろございますけど、たぶん9月県議会の議決ということになるかと思うんですが、皆様のご指導をいただく中でしっかりと役目を果たしてまいりたいと思っておるところでございます。

先ほど来お話がございましたように、合併をいたします各町村には先人が築いていただきましたすばらしい歴史と文化をお持ちでいらっしゃるわけでございまして、それを超えてですね、将来の大長野市を想像する中で皆さん方には英断をいただいた今日の合併でございまして、何としましても新合併都市は更なる住民の福祉の向上、もとよりでございますけれども、元気な魅力あるまちづくりに進んでまいらなければならないと思っておるところでございます。

私どもも県議会の立場の中から、全員協力をいたしまして、その魅力ある大長野市の将来に向かって大きくご尽力を申し上げてまいりたいと思っておるところでございます。

どうか今日までのご努力に対しまして、お集まりの関係皆さんに改めまして心から敬意と感謝を申し上げますと同時に、将来の大長野市の発展のために何分のご尽力を重ねてお願いを申し上げ、出来ました新市が大いに発展をいたしますことをご祈念申し上げます、整いませんけど一言持ちましてお祝いとさせていただきたいと存じます。どうもありがとうございました。

(米倉事務局長)

ありがとうございました。

ここで、祝電をいただいておりますのでご披露申し上げたいと思います。

長野市、豊野町、大岡、戸隠及び鬼無里村の5市町村による合併協定調印式誠におめでとうございます。

長野地域合併協議会の関係各位に対し、深甚なる敬意を表しますとともにより魅力的なまちづくりに専心し、地域住民の福祉の向上にいよいよのご活躍をご記念申し上げます。

法務大臣 野沢 太三 様

以下たくさんのお祝電をいただいておりますけれども、誠に失礼ではございますけれども、時間の都合上お名前のみご紹介させていただきたいということでお許し願いたいと思います。

それでは、お名前をご披露申し上げます。

衆議院議員 小坂 憲次 様

衆議院議員 下条 みつ 様

衆議院議員 村井 仁 様

衆議院議員 篠原 孝 様

衆議院議員 堀込 征雄 様

参議院議員 北澤 俊美 様

参議院議員 吉田 博美 様

参議院議員 羽田雄一郎 様

県議会議員 竹内 久幸 様

県議会議員 服部 宏昭 様

以上でございます。ありがとうございました。

続きまして閉式の辞を鬼無里村の宮下助役より申し上げます。

(宮下鬼無里村助役)

長野地域の合併協定の調印式が協議会委員の皆様のご出席をいただきまして、また、本日は1市1町3村の議会議員の皆様方にもお立会いをいただく中で、調印式がめでたく執り行われました。

本日の調印式に当たりまして、お忙しい中を国会議員の先生をはじめ、多くの来賓の皆様方からご臨席を賜り、その上また心のこもったご祝辞を賜りましたことを心より厚く御礼を申し上げます。

以上を持ちまして合併調印式を閉式とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

(米倉事務局長)

長時間にわたりまして、誠にありがとうございました。

以上を持ちまして、長野市・大岡村・豊野町・戸隠村・鬼無里村合併協定調印式を終了いたします。

午後5時12分終了